

学校だより

NO.28

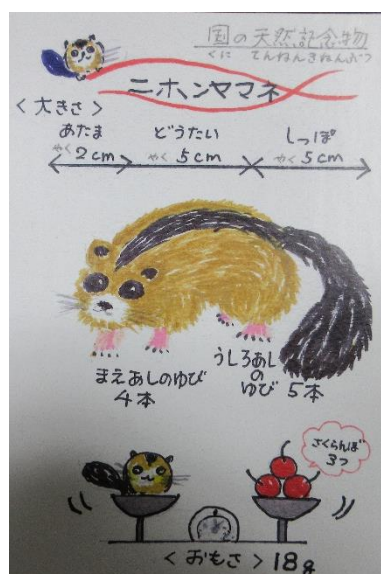
2024 (令和6) 年 12 月 18 日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

読み聞かせから

12月11日、朝の読書の時間に「おはなしのくにアリス」さんによる読み聞かせがありました。1年生は「おおきなクマさんとちいさなヤマネくん ふゆじたくのおみせ」、2年生は「とおせんぼ」を読んでもらいました。子どもたちがヤマネのことをイメージしながら聞けるようにと、イラストと説明付きのカードも用意してくれたので、大きなクマとサクランボ3つ分くらいの重さしかない小さなヤマネと一緒に買い物をする様子をイメージしながら、楽しくお話を聞くことができました。「とおせんぼ」の作者、村上しいこさんは三重県



出身の方で、子どもたちはより身近に感じながら、お話に聞き入っていました。また、村上さんの他の作品「ちょきんばこのたびやすみ」「じてんしゃのほねやすみ」「図書室の日曜日」等も紹介してくれました。こうした機会を通じ、「こんな本を読みたい」と本を手に取り、読んでいける子を育てていきたいと思えます。

冬休みに入るにあたって、図書室で1人2冊ずつ本を借ります。「どんな本を借りたの」「どんな話だった」と声をかけていただければと思います。

個別懇談会

12月2日・3日・5日(火)の3日間、個別懇談会を行いました。保護者の皆様には、お忙しい中お越しいただきありがとうございました。懇談では、学校での子どもたちの様子を伝えさせていただくとともに、お家での子どもたちの様子や頑張りを聞かせていただきました。また一つ子どもたち一人ひとりについて知ることができました。日頃から気になっていることも聞かせていただき、今後の指導にいかしていきたいと思えます。

また、保護者アンケートにもご協力いただきありがとうございました。後日、集計した結果を学校だよりでお知らせします。

部落問題を考える小学生の集い

11月26日、伊賀市中の各小学校6年生の代表が集まり、DMGMORI アリーナとゆめぽりすセンターで行われました。本校も代表2名が9分散会の中の2つの分散会に参加し、上野西小、上野北小、久米小、大山田小、壬生野小の子どもたちと、これまで学んできたことや考えてきたこと、行動してきたことなどを交流しました。思いを聴き合い、寄り添いながら、「本当のなかまとしてつながるために、今、自分ができること」について考えを伝え合いました。交流を通して、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、差別を許さないという気持ちで学習しているなかまがいる安心感と、ともにこれからも取組を続けていきたいという思いをもつことができました。